

小学生・中学生の皆さんへ

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>

あらかわ区報 Jr. は  
荒川区ホームページで  
ご覧になれます



# あらかわ区報 Jr.

ARAKAWA KUHO JUNIOR



No.174

3.16

2026年[令和8年]

発行：荒川区 発行部数：23,000部  
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3  
☎(3802)3111



# 東京七宝の 若手職人 畠山佳奈さんに

# 一日弟子入り



モノづくりが盛んな荒川区には、数多くの伝統工芸品があります。そのひとつである七宝は、アクセサリや学校の校章、勲章、自動車や電気製品のエンブレムなど、私たちの身の回りのものに使われています。今回、南千住で75年続く畠山七宝製作所の三代目・畠山佳奈さんに、第三瑞光小学校のジュニア記者たちが一日弟子入りし、その製作技術を学びました！

【問い合わせ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

次は5月に発行する予定です



# 金属とガラスの伝統工芸品

# 七宝の技を見てください!



金属の下地に、さまざまな色のガラス質の釉薬を盛り込んで作る「七宝」。その作り方は色盛り、焼成、酸洗い、研磨と主に4つの工程があり、色を入れるたびに焼成と酸洗いを繰り返すため、とても手間がかかります。都内でわずか数軒しか作っていない東京七宝の貴重な担い手・畠山七宝製作所ではどのように作っているのか、製作現場を見せてもらいました。

## 1 色盛り

丹銅という銅合金の板をプレスしてできた下地に、釉薬を1色ずつ盛り込みます。表面に気泡が出ないように、一度薄く盛ったら焼いて、再び色を盛り重ねる「2度盛り」を行います。



デザインの線(溝)からはみ出さないように釉薬を盛ります

釉薬の色見本帳と、配色を書き込んだ畠山さんの七宝のデザイン画

染った先で釉薬をすくって盛るホセ(竹へら)は、職入さんが自ら作ります

100色以上あるという七宝用の釉薬。中には、白く見えても焼くと赤くなる不思議な釉薬も!



中込 瑠璃子さん

色盛りした下地を金網に載せて窯へ入れる畠山さんと、見守るジュニア記者たち

## 2 焼成

乾燥させて釉薬の水分を取り除いた後、780~820℃の温度で2~3分ほど焼きます。熱が加わることで赤くなり、やがて白く変化したら取り出します。そのタイミングは職人の経験と勘で見極めます。



製作所では特注の電気窯を使います。扉には、中を観察するのぞき窓が付いています

焼き上がりの様子。色の付いていない部分はすべて酸化膜ができて黒くなります

釉薬の色選びや組み合わせで印象が変わるよ!



## 3 酸洗い

酸処理とも呼ばれるこの工程は、塩酸と硝酸で黒くなった酸化膜などを落とし、表面をピカピカに仕上げます。化学薬品を使う特殊な加工技術なので専門の免許を持つ職人だけが出来る作業です。



金網のカゴに入れて、塩酸と硝酸の液体に浸けます

ホースから水をたっぷりかけ流して、酸を落とします



洗い上がりの様子。発色の美しさは、この酸洗いかかっています

## 4 研磨

色が全て入り、酸洗いまで終わったら研磨機を使います。水を流しながら、回転する砥石で表面の余分な釉薬を丁寧に削り、埋もれてしまったデザインの線を少しずつ浮き出させます。



手元の電球で照らし研磨の具合を確認しながら、回転する砥石に当てます



研磨しやすいように木片の型に固定して手に持ちます



小林 倫太郎さん



研磨前と研磨後を比べて見せてくれる畠山さん

## 七宝の技を体験しました!



ジュニア記者たちが選んだデザインは、横向きと正面の2パターンのアマビエ



「何色にしよう?」と配色に悩む小林さん。ホセを使って黄緑色の釉薬を髪のような細い部分に盛り付けます

「釉薬がはみ出ちゃった!」と中込さん。枠からはみ出した部分はペーパーに水分を吸わせて、細い筆で取り除きます



## でき上がり!



ジュニア記者たちの作品がこちら。自や口などの小さな部分の色盛りに苦戦しましたが、同じデザインでも、色の違いで全く雰囲気が変わり、個性が出ました

## 畠山七宝製作所とは...

昭和26年(1951)に設立し、区内では唯一の七宝の工房。4名の職人が在籍して、独創的なデザインのオリジナル品や企業などから依頼された品を手がけています。金属の枠しかない部分に表面張力で釉薬を盛り込み、焼き付ける高度な技術「ブリカジュール(透胎)」を得意としています。

## はばたけ! 若手職人展

「荒川の匠育成事業」の修了者・研修者による伝統工芸品を紹介します。畠山さんの作品も展示されるので、ぜひ、見に行ってみよう!  
期間:3月14日(土)~5月31日(日)  
会場:荒川ふるさと文化館 ちかかわ伝統工芸ギャラリー  
観覧料:無料



## 七宝 OXクイズ

- Q1 「七宝」の意味は、仏教の経典に出てくる7種類の宝物のことで。
- Q2 釉薬の主成分はガラス質です。
- Q3 七宝の工程は「下地に釉薬を盛りつけて焼く」の2工程で完成です。

答えは4面にあります

Close-up



第四中学校の竹内柚希さんが  
人権作文東京都大会で  
優秀賞を受賞しました

第四中学校2年の竹内柚希さんの作文「偏見と不平等がない世の中へ」が、全国中学生人権作文コンテスト東京都大会で優秀賞を受賞しました。竹内さんは12月19日、滝口区長に受賞を報告しました。



▲滝口区長に報告する竹内さん

薬物乱用防止ポスターが  
東京都選考で入賞しました

東京都では、中学生に薬物問題への関心を持ってもらうため、薬物乱用防止ポスター・標語を募集しており、荒川地区協議会でも、区内の中学生に作品を募っています。今回、東京都選考で44,000点以上の応募がある中、荒川地区協議会が推薦した下記の作品が入賞しました。

入選した作品は、東京都庁や都の施設などで展示されました。



▶ポスターの部  
優良賞  
第七中学校2年  
わかやままこ  
若山真子さん  
(東京都承認番号:  
ほいけんやく  
7保医健薬  
だい  
第3842号)

七宝OXクイズの答え

- A1 ○ 金、銀、瑠璃、玻璃、珊瑚、めのう、しゃこを指します。
- A2 ○ 釉薬の主成分はガラス質。粗い粒を磨り潰して細かくしてから使います。
- A3 × 七宝は、色盛り・焼成・酸洗い・研磨の4工程で完成です。

あらかわお弁当レシピコンテスト

小学校1~3年生の部



パパねっ中しようにならないでがんばってね弁当!!

白土 桜  
第四峡田小学校3年生

暑い中、おしごとをがんばるパパがねっ中しようにならないお弁当を作りました。

小学校4~6年生の部



部活おうえん おにぎらず&ひんやりミネストローネ

青羽 渚  
汐入小学校4年生

部活をがんばるお姉ちゃんがひとくちでバランスよくごはんを食べられるように作りました。

中学生の部



おじいちゃんいつもありがとう! ~夏バテ防止柔らか弁当~

岩橋 海珂  
第九中学校2年生

おじいちゃんに感謝と夏バテしないで元気に過ごしてほしいと気持ちを込めて作りました。

小学生の部

荒川区弁当

瀬上 朝希  
汐入小学校4年生

大好きな荒川区に関係するものをつめあわせて作りました。



新型栄養失調をふきとばせ!!鉄ビタカルシウム弁当

下総 彩仁  
大門小学校5年生

大好きなおじいちゃんが元気に長生きしてほしいと思い作りました。



中学生の部

チームで食べて優勝!勝ち飯弁当

及川 ひより  
尾久八幡中学校1年生

一緒に部活を頑張る仲間へ作りました。



夏野菜で夏バテ解消弁当

松浦 葵  
第九中学校3年生

夏休みの間毎日仕事に行くお父さんのことを考えて作りました。



子ども議会での皆さんの声を  
区の取り組みに生かしています!

区では、子どもの意見を区の取り組みなどに反映させ、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、区立中学校10校の生徒20名が「子ども議員」になり、区へ提案を行う「子ども議会」を開催しています。

提案を生かして荒川区が令和8年度に取り組むことの一部をご紹介します。

子ども議員の提案 その1

利用者がルールを守って、みんなが遊べる公園にしてほしい。

[第五中学校]

子ども議員の提案 その2

SNSを活用して荒川区の魅力をもっと多くの人に伝えてほしい。

[第七中学校]

令和8年度の展開

決められたルールのもと、手持ち花火ができる公園や、どろんこ遊び・木登りなどが体験できる「プレーパーク」など、「してはいけない公園」を「できる公園」にしていきます。



▲プレーパークの様子

令和8年度の展開

荒川区公式 X、Facebook、LINE、YouTube、Instagram を多くの人に知ってもらい、より一層魅力ある内容を発信するとともに、令和8年度に新しく始めるTikTokなど、SNSを活用して、多くの人に荒川区の魅力が届けられる取り組みを実施します。

